＜事故速報の様式例＞

電　気　事　故　速　報

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　年 　 　月 　 　日

関東東北産業保安監督部電力安全課　御中

（報告者）本社所在地

　　　　　　　設置者の名称

報告者名

　電気関係報告規則第３条（第３条の２）の規定により報告します。

１．事故発生日時　 　 年 　 月 　 日（ 曜日） 　 時 　　分　天候

２．事業所の名称　　　　　　　　　　　 　事業所の所在地

３．需要設備等　　契約電力 　 kW 受電電圧 　kV　発電所出力 　kW

４．事故が発生した電気工作物

　　　　 使用電圧 V

５．事故の種類 ①　感電死傷事故　［　死亡・負傷　］　②　電気火災事故

　　　　　　　　　　③　感電以外［　アーク・その他　］の死傷事故［　死亡　・　負傷　］

　　　　　　　　　　④　主要電気工作物破損事故　⑤　発電・放電支障事故　⑥　波及事故

　　　　　　　　　　⑦　電気工作物に係る社会的に影響を及ぼした事故　⑧　その他（　　　　　 ）

６．事故の原因

７．事故の概要

a.上記５．⑥の場合：東京電力パワーグリッド株式会社 変電所 線に波及

　　　　 供給支障電力 　 kW 供給支障時間 　時間 　　 分

供給支障軒数 　 　軒

　　　　　　　　　　 東電動作リレー　　OCR･　DGR･　GSR･　その他（　　　）

b．上記５．①、③の場合：［電気関係作業者 ・ その他の作業者 ・ 一般公衆］

　　　　　　　 ［社内者・社外者（社名　　　　　　　）］［ 男・女 ］年齢　　 　　歳

８．応急措置

９．復旧対策

10．復旧予定日時　 　 年 　　月 　　日 　 時 　分 ［ 仮・本　復旧, 未定］

11．主任技術者の　 [自社・ビルメン選任]　の［ 専任・ 兼任・ 許可］

　 選　任　形　態 　 [　外部委託:電気保安法人（　　　　　　　　　　）・　電気管理技術者　]

12．主任技術者名　　　　　　　　　　　　　　　　　（所属：　　　　　　　　　　　　）

　 電 話 番 号 　 － － （現場到着時間　　　　時　　　分）

※受信者名　　　 　　 ※受信日時 　　　　　年　　　月　　　日　　時　　　分［電話・FAX・来部］

注１．報告の際、FAXがある場合は、まずFAXをしていただき、その後、確認のため電力安全課

あてに電話連絡をして下さい。（　報告時間はFAX が入った時間とします。）

注２．５．「事故の種類」、「７．事故の概要」、「11．主任技術者の選任形態」の欄については、

[ ]内で該当する箇所を○で囲み、必要事項について記載して下さい。

注３．「12．主任技術者名等」の欄については、管理技術者名（電気保安法人の場合は、法人名及び保安業務担当者名）を記載して下さい。

注４．電話番号は速報の問い合わせ先を記載して下さい。

注５．用紙の大きさはＡ４で作成して下さい。

注６．※印は、記載不要です。FAX送付後、電話で問い合わせをしていただいた際、受信者名及び受信日時を申し上げます。記載をお願いします。

（報告先）

〒330-9715　埼玉県さいたま市中央区新都心１番地１

関東東北産業保安監督部　電力安全課安全推進係

電　　　話　０４８－６００－０３８６

Ｆ　Ａ　Ｘ　０４８－６０１－１３００

発電設備に係る事故については、電力安全課発電係　または　火力係に報告のこと。

電　　　話　０４８－６００－０３９２

Ｆ　Ａ　Ｘ　０４８－６０１－１３０１